

営 業 案 内



日新グループ

鶴見倉庫株式会社



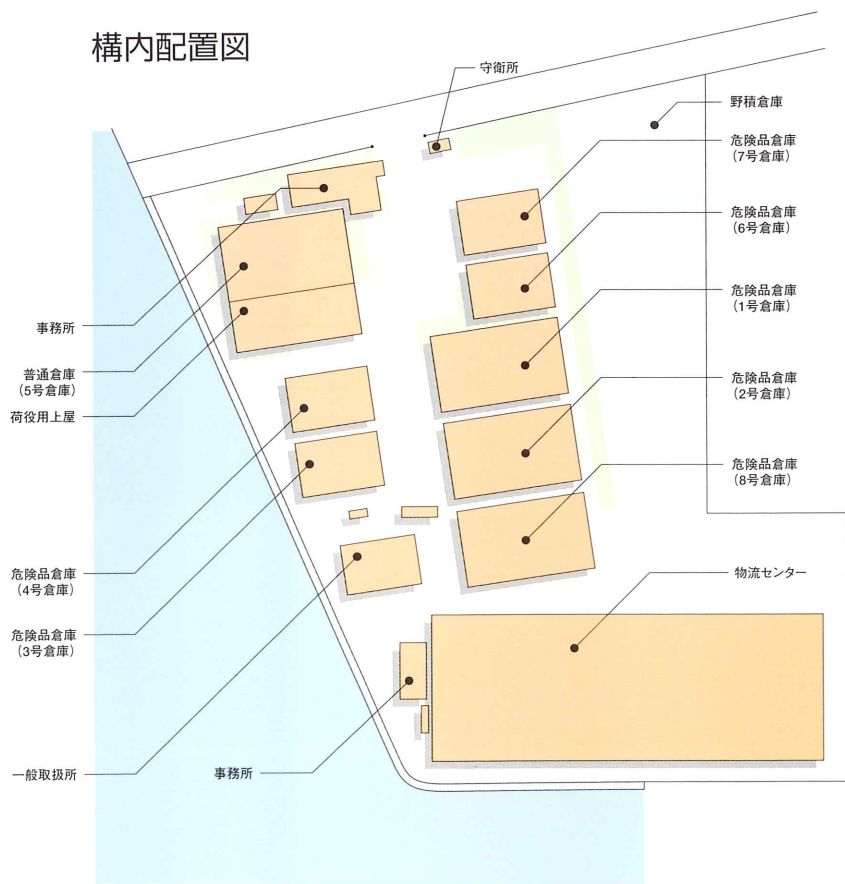
TSURUMI WAREHOUSE CO.,LTD.

<http://www.tsurumisouko.co.jp>



京浜地区のほとんどをカバーできる
ロケーションと、多様な倉庫群をもって
皆さまのニーズにお応えいたします。

構内配置図



横浜市鶴見区大黒町に位置し、首都高速横羽線・生麦ランプと首都高速湾岸線大黒ふ頭ランプとの間にあり、横浜港、大黒ふ頭、ベイブリッジを經由して、本牧ふ頭、山下ふ頭へも至近の距離にあり、横浜はもとより、東京方面、千葉方面、東名高速への接続など交通至便の立地にあり、危険物専用の倉庫を運営しております。

構内は、十分な作業スペースを確保し効率的な荷役のできる倉庫の配置となっており、京浜地区では、有数の危険物(消防法第4類他)を保管する営業倉庫として広くご利用いただいております。

所在地	横浜市鶴見区大黒町8-1		
電話	(045) 521-0021		
敷地	約17,064㎡		
倉庫設備	危険品倉庫(消防法第4類)	鉄骨造平屋建	約990㎡ 3棟
	危険品倉庫(消防法第4類)	鉄骨造2階建	約990㎡ 4棟
	普通倉庫	鉄骨造平屋建	約990㎡ 1棟
	物流センター	鉄骨造2階建	約10,600㎡
	野積倉庫		約 7,300㎡
荷役設備	オムニリフター	2トン2基・3トン2基	
	フォークリフト	20台	
その他の設備	荷役用上屋	670㎡ 1棟	
	一般取扱所	400㎡ 1棟	

鶴見倉庫株式会社は、物流新時代を担う「日新グループ」の一員です。



会社の沿革

昭和22年12月	創立者、沖山明一氏が鶴見区生麦2-1-1に営業倉庫を開業する
昭和24年4月	危険品倉庫の営業を始める
昭和38年6月	普通倉庫として中区山下町279-1に山下埠頭倉庫が完成する
昭和40年6月	沿岸荷役事業(当社構内河岸限定)の免許を受ける
昭和42年6月	普通倉庫として8号倉庫が完成し、生麦倉庫の普通倉庫は1,2,3,4,5,6,7,8,各号となる
昭和46年8月	普通倉庫の1号が危険品倉庫として営業開始する
昭和52年5月	当社株式の100%をキリンビール株式会社が取得する
昭和56年10月	普通倉庫の3号が危険品倉庫として営業開始する
昭和59年8月	危険品倉庫としてA号倉庫が完成する
昭和60年4月	自動車運送取扱事業を登録する
昭和61年6月	山下埠頭倉庫の一部を冷蔵倉庫に変更する
昭和61年8月	山下埠頭倉庫が食品冷凍冷蔵の営業許可を受ける
昭和61年10月	生麦倉庫で毒物劇物一般販売業を登録する
平成3年3月	危険品倉庫および普通倉庫として鶴見区大黒町8-1に大黒町倉庫(1~5号)が完成し移転する
平成5年10月	大黒町倉庫に6号危険品倉庫が完成する
平成6年7月	大黒町倉庫に毒物劇物一般販売業の変更登録をする
平成8年5月	大黒町倉庫に7号危険品倉庫が完成する
平成12年9月	大黒町倉庫に8号危険品倉庫と一般取扱所が完成する
平成19年1月	大黒町倉庫グリーン経営認証を取得する
平成19年3月	大黒町倉庫6・7号倉庫にオムニリフターを設置する
平成21年11月	当社株式の100%を株式会社日新が取得する



会社の概要

社名	鶴見倉庫株式会社
所在地	横浜市鶴見区大黒町8-1
設立年月日	昭和22年12月26日
資本金	4000万円
営業品目	①倉庫業(倉荷証券発券許可) 危険品倉庫・冷蔵倉庫・普通倉庫・保税蔵置場 ②港湾荷役事業(当社構内河岸に限る) ③第一種利用運送事業
主要取引先 (敬称略・50音順)	協和海運(株)/京葉物流(株)/CBC(株)/JSR(株)/ 鈴与(株)/(株)築港/トヨタ部品神奈川共販(株)/ (株)ニチウン/日本ヴォパック(株)/日本包装運輸(株)/ (株)日陸/三菱化学物流(株)/安田倉庫(株)
取引銀行	三菱東京UFJ銀行 本店・鶴見支店

付近案内図





鶴見倉庫株式会社

大黒町倉庫・本社事務所

〒230-0053 横浜市鶴見区大黒町8-1
TEL.(045)521-0021(代) FAX.(045)521-0026

山下埠頭倉庫

〒231-0023 横浜市中区山下町279-1
TEL.(045)641-9465(代) FAX.(045)651-4517